

	2009年 12月2日 第529号	JR東海労新幹線関西地方本部 http://www.jrcu-kansai.com 発行責任者 船出 信政 編集責任者 山下 博
---	-------------------------	---

乗務員職場における諸問題改善に向け

国土交通省近畿運輸局へ要請行動!

JR総連近畿地協は11月27日、国土交通省近畿運輸局へ「安全問題」等について要請行動を行いました。当日はJR東海労からも参加し、JR東海会社における乗務員職場の諸問題改善に向けて大阪第一・二運輸所での2点に絞って要請書を提出し、JR東海会社への指導を要請しました。

近畿運輸局へ要請した内容の要旨

- ・大阪第一運輸所において、組合員に対して、事故やミスを犯した訳でもなく、些細な事に対して、乗務前の点呼や乗務中の添乗において、精神面や安全上問題のある行為が行われていることについての改善指導をお願いします。
- ・大阪大二運輸所において、組合員が業務中に発生した事象（VCBトリップ）を報告しているにもかかわらず、その報告を信用せず、それをもって「懲罰的な日勤」や「暴言」による威圧をしています。精神面や安全上問題のある行為が行われていることについて改善指導をお願いします。

JR東海労が提出した要請書の内容について、近畿運輸局の担当官は「VCBについて、不意にさわって問題があるなら、車両の側に問題がある。そっちの方が大事だ。会社からはその車両は西会社のだからと聞いている」、「言った言わなかったの問題もあるので聞いた（JR東海会社へ）が、テロ行為とかは言われてて、まずいのではないかと、良くない。と言ってある」、また、管理者の威圧行為については「言った言わなかったとなるので、内容から見ると、ちゃんと報告しているのに、何でそのようになるかと思う」、「他の職場ではないのか？」などの報告を受けました。

そして、職場で現在発生している問題、組合員に対する「懲罰的な日勤」について報告をしました。担当官から「必要な教育のためなら仕方ないが、全然違うような教育では・・・そういう事象については調査をしてみたい」「テストに合格しないと乗務させないというのは、西会社でもあった」「東海さんは最近多いので、時間はかかるかもしれないが努力したい。どうぞ頑張って下さい」などの意見を頂きました。

JR東海会社の「安全問題」における姿勢や社員に対する対応について、監督官庁である近畿運輸局が従来にまして注目していることが伺えます。

今後とも職場の取り組みと合わせて、改善を求めていきたいと思います。